



グランドオープン直前の姫路城



みんな揃って ハイ！パチリ！

前日までの雨が嘘みたいになり、新緑の播州・但馬路を訪れました。グランドオープン直後の姫路城は入場すら危ぶまれましたが何とか天守にも入ることができました。播但道を北進し生野銀山に到着。坑道に入り昔の狸堀り、明治に入り外国より導入された掘削設備、鉱石を搬出したトロッコ、排水設備、鉱脈跡等々、口銀谷の街に下ってくる。と幹部社員の社宅、生野から姫路まで鉱石を運んだ銀の馬車道等々興味深い物ばかりでした。ロックフィル方式（石積み）の多々良木ダム、明延鉱山の鉱石を近代工法で選別していた東洋一の神子畑選鉱場跡を見学し、天空の城竹田城を見つつ（車窓から眺めただけでしたが）帰路につきましました。

## 福祉ぶっちゃんけ座談会

丸亀市社会福祉協議会では、丸亀市と協働で「第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定に取り組んでいます。

この計画は、社会状況の変化による生活困窮者問題などの新たな福祉課題に対応するため、市や社会福祉協議会だけではなく、地域住民に積極的にご参加いただきながら、さらなる地域福祉活動の発展を目指すものです。

計画作りにあたり、地域住民の生の声を計画に反映させるため、市内全域17コミュニティで「福祉ぶっちゃんけ座談会」（住民座談会）を開催しました。

飯山北地区では、3月1日、7月12日の2回開催し、コミュニティ役員や福祉部会員などが参加して意見交換を行いました。

3月の第1回目座談会では「高齢者に関すること」「障がい者に関すること」「子ども子育てに関すること」「地域のいい所・困りごと・福祉防災な

ど地域の心配ごと」について、日ごろ感じている課題や問題点について意見交換しました。

7月の第2回目座談会では、1回目が出た課題について「解決方法は何か」「自分たちでできることは何か」について積極的に意見を交わしました。



座談会でいただいた住民の声を「第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画」に盛り込み「誰もが安心して暮らせる福祉のまち」を目指して、皆様と一緒に取り組んでいきます。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

### 1回目の座談会での課題についての主なご意見

#### 高齢者

- 高齢者の見守りで、どこまで踏み込んでよいかわからない。
- 一人暮らし高齢者の安否確認が難しい。
- 高齢者の地域交流が減ってきている。

#### 子ども・子育て

- 安全な子どもの遊び場が不足している。
- 少子化で、子ども会活動ができない。
- 子どもを叱る地域の人がない。

#### 障がい者

- 障がい者に対する思いやりが足りない。
- 地域と障がい者施設との連携強化が必要。
- 障がい者への接し方がわからない。

#### 地域

- 車がないと外出も不便。交通の便が悪い。
- 持ち主がいなくなった家屋の始末に困る（家屋が風化し危険）
- 自治会加入世帯の減少。

#### 防災

- 要援護者台帳はあるが、本当に支援できるか不安。
- 防災時の支援体制の充実が必要。

#### 地域のよいところ

- コミュニティが中心になり事業を企画運営している。コミュニティ活動が活発。
- 学校支援ボランティア、子育てボランティア、かがやきクラブ等の活動が進んでいる。
- 地域の声掛けがよくできている。世話やきさんがいる。